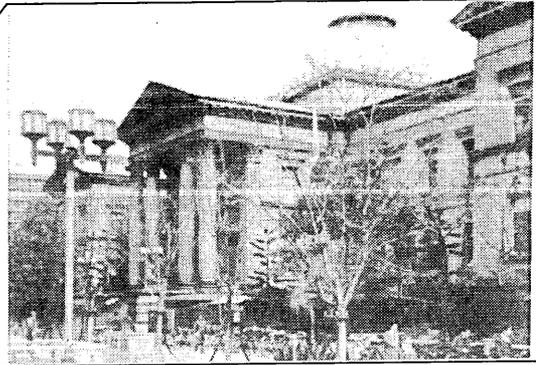


リソース・ライブラリー 2

大阪府立中之島図書館



◆ 知の共有空間

「公共図書館」という知の共有空間へ時間をつかって足を運んでみることは、病院図書室の図書館員としてはもちろん、一般の利用者の一人としても学ぶことが多いということは言うまでもないことでしょう。

「大阪府立中之島図書館」は、明治37年（1904年）に大阪図書館として開館され、昭和49年（1974年）には、建物の本館と左右両翼の3棟が国の重要文化財に指定されています。そんな歴史の重みからか、図書館に一步足を踏み入ると、それまでの都会のあわただしい時間の流れが急速に遅くなっていくような落ちつきを与えてくれる空間が広がります。

◆ 入館

入口で入館証（ロッカー鍵付き）を受け取って2階中央ホールに上がると、そこには書名目録（五十音順）がずらりと並んでいます。隣室には著者目録、その前に洋書（分類・著者）目録が並んでいます。書名や著者が分かっている場合は、ここで調べると便利です。求める本が見つければ、開架図書目録で配架場所を確認して書架へと向かってください。見当たらない場合はその横に「総合案内」が設置されていますので尋ねられるとよいでしょう。

また、各閲覧室には分類目録も設置されていますので、書名がはっきりしない場合はこちらを利用されると便利です。

分類は平成2年度よりODC（大阪府立中之島

図書館分類表）からNDCに変更され、2本立てになっていますので注意してください。

◆ 目録カード

目録カードをめくっていると、「へー、こんな本があったのか」と思わぬ発見をすることがよくあります。キーボードをたたいて必要な文献を検索することももちろん大切ですが、時間を忘れてカードをめくって読書のみちくさをするのもまた、蔵書数の多い中之島図書館ならではの魅力のひとつではないでしょうか。飛行機で現地に直行の旅もいいですが、各駅停車の読書の旅もまた、心を豊かにしてくれます。

◆ 6つの閲覧室

閲覧室は分野、主題によって6つの部屋に分かれています〔表1参照〕。調査や研究の目的に応じて、どの閲覧室も自由に利用ができます。たとえば、企画協力室には図書館学の本や、図書館関係の専門雑誌のバックナンバーがそろっていますのでとても参考になりますし、郷土資料室には、大阪府が刊行している行政の統計等がパンフレットに至るまで収集されているということです。必要時には利用されると便利でしょう。

◆ こんな利用をしています

私たちの病院図書室もレファレンス業務で困った時などは、府立図書館を利用している機関がいくつかありました。

たとえば、「戦国時代の外科手術について知り

【表1】閲覧室

人文科学室……	宗教、哲学、教育、文学、言語、歴史、地理、芸術、スポーツ等
社会科学室……	政治、法律、社会、民族、民俗、経済、商業、統計等
自然科学室……	数学、物理、化学、天文、地学、医学、薬学、工学、工業、公害関係資料等
郷土科学室……	大阪に関する全分野の資料郷土史、地誌、行政、経済産業、芸術等
小説・新聞室……	小説、文学作品、週刊誌、新聞等
企画協力室……	図書館学、書誌学、出版関係、百科事典等

《 M E M O 》

- ◇ 所在地・電話・FAX
〒530 大阪市北区中之島1丁目2番10号
TEL. 06-203-0474 06-203-4150(利用の相談)
FAX. 06-203-4914
- ◇ 開館時間
午前9時～午後9時
(郷土資料室は午後5時まで)
土曜日：午前9時～午後5時
- ◇ 休館日
日曜日、国民の祝日、毎月末日、年末年始、特別整理時間(およそ年間15日間)
- ◇ 貸出
冊数：一人4冊 期間：3週間
*大阪府下に在住、在勤、在学及び隣接府県の在住者に貸出可能
*貸出中の図書は予約が可能
*雑誌等、貸出できない資料もあります。
- ◇ 複写受付時間
午前10時～午後7時
土曜日：午前10時～午後4時30分
- ◇ 交通
・地下鉄御堂筋線「淀屋橋」
・京阪電鉄「淀屋橋」 下車 徒歩5分
・JR「大阪」
・阪神電鉄「梅田」
・阪急電鉄「梅田」 下車 徒歩15分

たい」とか「アルミサッシの年ごとの生産量が知りたい(アルミサッシの増加とアトピー性皮膚炎の増加の関係を調べている)」とか「去年の秋ぐらにサンケイ新聞に塩酸トラゾドンの薬についての記事が載っていたらしい。その記事が読みたい」
以上のようなレファレンスは、医学関係の二次資料ではどうも役に立ちそうにありません。そんな時は迷わず府立図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか。なんらかの情報を得ることができると思います。

◆ ねばり強くあきらめず

蔵書数は91万3,836冊(92年3月現在)で、そのうち開架図書は8万冊。ほとんどが書庫の中にあります。ですから、目的の本を探すにはあきらめずねばり強く目録カードをめくることが大切です。

◆ 新図書館

平成8年4月予定で新図書館が開館します。新図書館(東大阪市、近鉄荒本駅下車)は地上4階地下2階でコンピューターシステムを導入し、より利用しやすくなるということです。おおいに期待したいと思います。

(文責：前田元也・本誌編集部)

